

保護者の皆様へ 附属特別支援学校長だより

NO. 7

令和2年(2020)11月30日

発行:大阪教育大学附属

特別支援学校

校長 須田 正信

令和2年度大阪教育大学附属 11 校園 PTA 研修会開催「柏原キャンパス:11月14日」



■横内会長から本校の様子や活動を紹介しました。



■広谷機構長の講演「身の回りの水と微生物」

11月14日、柏原キャンパスにて令和2年度の附属11校園PTA研修会がありました。今年は「コロナ感染対策として人数を制限して開催しました。附属特支からは会長と副会長を含む8人が参加しました。学長のあいさつはビデオメッセージで始まり、第一部は広谷附属学校機構長兼理事からの講演と第二部は、各学校の紹介として、本校PTA会長の横内さんから本校の様子や活動の紹介をしていただきました。



16日月曜日には、高等部後期生徒会役員になったそれぞれの生徒に校長から「認証状」を手渡しました。認証状をもらった生徒一人ひとりが役員としての抱負を述べてくれました。生徒会選挙の投票では、本格的な投票の仕方なども勉強しました。

■高等部後期生徒会役員にそれぞれ認証状を渡しました。



■高等部修学旅行「10月28日~30日」

今年度の修学旅行先は当初計画であった「長崎方面」を変更して「吉野方面」に切り替えて実施しました。今般の社会情勢を含め近場であることと感染影響の最小化を考慮して実施しました。生徒たちにとって学校生活の思い出の一ページを飾ることができました。

★修学旅行の行程内容

- ・吉野宮滝野外学校での自然体験活動
- ・吉野山ハイキング
- ・川遊び、アユつかみ体験 他

◆教職員が「オンライン研究発表会」に向けて研修会を実施しました。

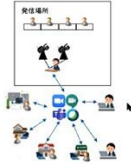
11月9日本校において職員研修会を開催しました。本学理数情報教育系（情報基盤センター）の尾崎拓郎先生をお招きしてのオンライン研修会の在り方を開催しました。例年行っている附属特支の研究発表を公表する機会が、今般のコロナ感染において困難となることから、全国的なオンライン会議システムを活用して運用できないかとの試みです。来年2月13日の「研究実践報告会」でオンライン会議システムに向けたコミュニケーションを行い研究実践報告会に備えます。

■今回の取り組みについては、大学のホームページの「トピックス」に取り上げてもらいました。研究実践報告会だけでなく、オンライン授業の参考になりました。26日には学内でZoomを使って各研究グループから「ユニット研究の報告会」を行いました。



H. 対面（陪席無）＋遠隔

双方向性	双方向的（双方向性担保あり）
可塑性	箱型型（リアルタイム）
場所	発信会場＋陪席＋遠隔
参加人数	発信会場：人数 参加者：1～十人数（遠隔）
プロジェクタ・スクリーン利用	発信会場：状況による 参加者：遠隔会場（拠点到依存）
資料閲覧媒体	原則PC/Tablet（拠点到依存）
会議手段（通信手段）	会議システムのマイク・スピーカー利用
会議システム（音声映像）の利用	ビデオ会議システム・Web会議システム



【特徴】
 ● 発信者（関係者）は発信会場に集合、「会見・セミナー」を行う。
 ● 参加者は原則遠隔による参加
 ● ウェビナー形式の実施が一般的（大規模）
 ● 現地会場の机配置・カメラアングル等には配慮する必要あり
 ● 良い対話を促すためには良いカメラワークが必要（遠隔参加者）
 ● 会議システムに接続
 ● 配信機材、カメラ等
 ● 講している具体的な内容
 ● 文字起こし機能、ウェブ

【メリット】
 ● 参加者が同一所に集まらずに会議が実施可能。
 ● 参加者は任意の場所から参加可能。

【デメリット】
 ● 参加者同士の交流は困難（ウェビナー）



【小学部】
 ● 「山の辺の道」を歩いてきました。
 ● 「土粘土で傑作を作りました。」



【小学部】【中学部】の学習や行事の取り組みの様子

・小学部も中学部もコロナ禍の中にありながら、感染に留意して各授業、各種行事に取り組んでいます。子どもたちのがんばりが表れていました。



【中学部】
 ● みんなで着飾って「ハロウィンパーティー」をしました。
 ● 美術でクリスマスカード・ハロウィンカードを作りました。

